

定演直前号

「今年最後のお楽しみ」お見逃しなく!!

OB会長 大佐古 晃

今年も早、定期演奏会の時期となりました。12月15日(日)ヤクルトホールで17時30分開演です。行ってみようかやめとこうかお迷いのOBのために、今年の演奏会のPRをおきます。

1. 今夏の山野ビッグバンドコンテストにおいて、またしても**賞**を獲得したそうです(参加賞にあらず、2面に関連記事)。当然定演でも受賞曲が演奏されるはずですよ。

2. 新しい**コンガ**が欲しいという多数の要望に応じて、OB会は赤字を覚悟で楽器購入補助を行いました(2面に関連記事)。ラテンばっかしやってきた古いOBにとって、新しいコンガが欲しいという声が出たということは、ちょっと喜ばしい話ですが、新しいコンガを使っの演奏にも期待したいものです。

3. ここ数年恒例となっているサードステージでの**仮装大会**.....ではなくて仮装による演奏ですが、今年OB会から仮装大賞を授与する事といたしました。このため仮装はますますエスカレートすることが予想されます(2面に関連記事)。

毎年顔を出しているOBはもちろん、気の向いたときにしか出かけない方も長年行方不明だった方も、ほかのやは用なんかほっといて、今年は御家族連れで是非是非お出かけ下さい。

定演のご案内

日時 12月15日(日) 開場17時00分 開演17時30分

場所 いつものところ(新橋ヤクルトホール)

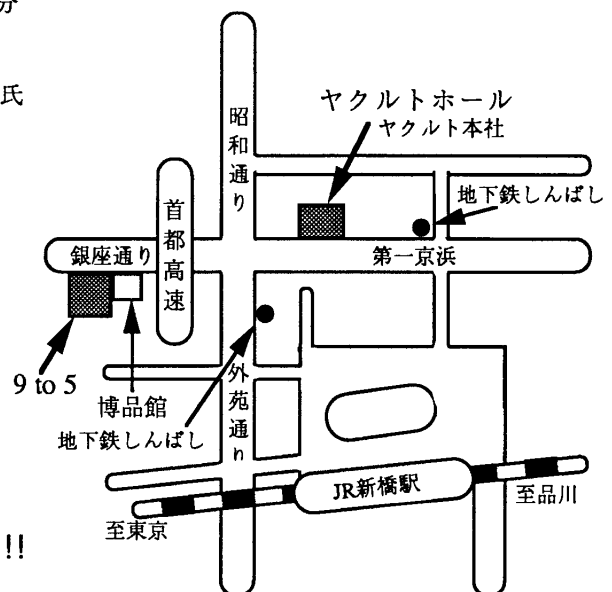
同封の御招待状にて、何人でも御入場できます。御氏名を記入の上、会場にお持ちください。

火を吹く演奏、仮装、仏法僧!!

打ち上げ(兼、OB総会)のご案内

日時 12月16日(日)、定演終了後21時ころより

場所 銀座「9 to 5」(博品館となり、ヤクルトホールより徒歩5分)



仮装大賞表彰等、企画もてんこ盛り!!
定演に来れない人も是非!!

「あなたが選ぶ 第1回仮装大賞」 のお知らせ

前号でもお知らせしたとおり、今年より優れた仮装に対し仮装大賞が贈られることとなりました。

各賞の内容

グランプリ 1装

今年度の仮装ジャズシーンにおいて、最も功績のあった仮装1装に対して豪華トロフィーと5,000円相当の賞品が贈られます。

準グランプリ 2装

今年度の仮装ジャズシーンにおいて、最も功績のあった仮装1装に次いで貢献のあった仮装2装に対して、それぞれ2,500円相当の賞品が贈られます。

*上記2賞の賞品は、OB会事務局で用意します。

各個人賞 多装

仮装に対し深い理解を示し、かつ、OB会に対し5,000円以上の寄付をいただき、さらに当日定演に選ばれた方によって選ばれます。審査基準および賞品は、提供者に一任されます。

審査基準の例

Yさん：せっかく東工大にいるのだから、ハイテクというポリシーを貫いたもの。

Mさん：仮装のみでなく、パフォーマンス性のあるもの。

セニョールMさん：露出度。

個人賞提供を希望する方へ

- まだ、OB会費および寄付(5口5,000円以上)を払っていない方は、12/2(月)までにお振り込み下さい。
- 審査基準を熟考し、基準にマッチした賞品を持って会場にお越し下さい。
- 演奏会終了後、打ち上げ会場入口にて審査用紙をお渡ししますので、係員にお申し出ください。

審査方法および表彰について

グランプリ、準グランプリはOB会事務局が選出した審査団(審査員長、萩本欣一氏予定)により選ばれ、演奏会のステージ上で発表、表彰を行います。

各個人賞は、提供者の独断により決定され、定演後の打ち上げ会場にて、発表、表彰を行ないます。

*なお、予定は変更になる場合があります。

皆様のご協力で、第1回仮装大賞を盛り上げましょう!!

NEWS!! '91山野B.B.J コンテスト ロスガラは 敢闘賞 を受賞!!

8/10(土)、8/11(日)にわたり日本青年館にて行われた今年の山野ビッグバンドジャズコンテストにおいて、我がロスガラは2日目のラスト(オオトリ)に出場、見事「敢闘賞」を受賞した。

ついに山野に仮装を導入し(客席で)、新しい時代を築いたステージを是非12/15に体験しよう!!

OB会よりコンガを寄贈!!

皆さん、「てんとう虫のコンガ」を御存知でしょうか?ロスガラに長年引き継がれている2本のコンガです。

あるときは華麗なステージでのリズムの要として活躍し、そしてまたあるときは実験レポートの執筆台に使われ長年親しまれてきましたが、老朽化が進み音が劣化してしまいました。

そこで、ラテンバンドの金字塔を目指すロスガラのOB会は、現役のメンバーのためにコンガの新品をを寄贈することになり、先日の10/13に引き渡しを完了致しました(LP社製ファイバーコンガ2本、お茶に例えれば玉露に相当)。

費用は15万。バブルがはじけた今、頼れるのはOB会の皆様だけです。第2期ラテンブームの幕開けを飾るにふさわしいこのイベントに、是非皆様のご協力をお願いいたします。

ますます充実する福利厚生

ロスガラ互助会発足のお知らせ

勝亦顧問(元会長)よりの提案で、ロスガラOBの結婚式にOB会より祝電を打つこととなりました。結婚式の情報がございましたら、OB会事務局担当、持田恵作までご連絡下さい。

行方不明者、 ぞくぞく消息判明!!

前号で呼びかけを行い、さらに大佐古会長率いる調査団によるローラー作戦により、多数の方々の消息が判明致しました。行方の判明した方の中から、何人かの方に近況を報告していただきましたので、ここにその一部を掲載します(順不同)。

なお会員の小栗 彰さん(46年入学、Perc)をはじめ、行方不明者の調査にご協力いただいた方々に、この場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

目加田明仁さん 昭和46年入学

長らく行方不明ですいません。卒業してからもう17年も経過していることに気付かぬ程、時間がたつのは早いものだなあと今更ながら思います。今回、行方不明会員として、大佐古さんが私に電話をかけてくれたお蔭で、不名誉(?)ながらOB会に復帰させていただくことになりました。今後とも宜しく願い申し上げます。

さて、近況報告といっても皆様に御披露する程の事は、今の所何も有りません。しかし、学生時代と会社生活とでは生活環境が激変し、また、悲しいかな一種の「会社人間」となってしまう、考えることといたら「会社の仕事」ばかりとなり、遊び、余裕のない人間となってしまうました。この事に気付いたのは約1年前、今は自己啓発を含め、人生に大きな目標を見付けるべく、暗中模索の今日この頃です。といっても、毎日を「暗く」過ごしている訳でもなく、又、幸い伴侶(ヨメサン)にも恵まれ、毎日楽しく過ごしてはいますが、それだけでは、「生」を受けた人間としてはつまらないですよ!!

さて、会社の仕事の方ですが、僕は入社以来ずっとプラント部(いわゆる石油精製化学プラント)で仕事をしていますが、栄枯盛衰はどの世の中にも有るもの、今はプラント部以外の仕事でも儲かるものは何でもやろうという事で、今の室(開発事業室)に配属になりました。今は色々なアイデアをかかえてやっておりますので、何か事業化できそうな面白い話がありましたら是非声をかけてください。...何か又、仕事の話になってしまいましたが。(仕事の事以外でも面白い話があれば、是非教えてください。)

秋野英治さん 昭和43年入学

四国、高松に転勤して5年半が過ぎようとしております。そろそろ転勤の時期と思われるので、留守宅の住所を下記に記します。(略)

尚、会費及び寄付金を同封いたしますので、宜しくお願いします。

大高 亨さん 昭和45年入学

永らく不明会員との事、連絡せず申し訳ありませんでした。演奏会には出席したいと思っていたのですが...今回は是非とも出席したいと思います。

小田急線新百合ヶ丘に移り住んで7年になります。化成品の研究開発をしています。

加藤三治さん 昭和45年入学

2年前に、横浜のトレンドイーな場所、Bay Bridgeとマイカル本牧のすぐそばに家を建てました。お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。

佐々木忠司さん 昭和47年入学

1988年9月より、シンガポールに住んでいます。Regional Officeなので、インドネシア、マレーシア、タイを中心に主張の多い仕事です。趣味はゴルフ(オフィシャル13)と音楽観賞(主にクラシック)。ゴルフは月6回のペース。コンサートへは昨年よく足を運び、オペラのスーパースタードミンゴ、エッセンバッハ率いるヒューストン交響楽団、スイスを代表するトニハレ交響楽団(この時から若杉弘がタクトを振る)、高原守率いるニューヨークシンフォニックアンサンブル、バイオリンの前橋汀子、カナダの若年ピアニストジョン木村パーカー、アジア初のショパンコンクール優勝者ダンタイソン、クラシックギターの莊村清志など枚挙にいとまがないほどでしたが、今年は打って変って著名アーティストがシンガポールに来てくれません。それでも、シンガポール交響楽団の定期演奏会に顔を出したり、CDを集めたり(400枚突破しました)しています。

今年6月より、やはり趣味でインドネシア語を習い始めました。きっかけはゴルフです。インドネシアでゴルフする機会も多く、キャディーとのコミュニケーションが必要だからです。ものになるかどうか分かりませんが、けっこう楽しみながらやっています。

会員の方で、お近くにお越しの際は是非とも一報下さい。時節柄、御自愛のほど念じ上げます。草々

構想7年練習4回 Orquest del Juto 初ライブ大成功!!

Orquesta del Juto活動記 第2回

Orquesta del Jutoリーダー Fuego 山崎

フィラデルフィアからハイウエーをぶっ飛ばしスタッテン島を横切りながらニューヨークにはいった所にある世界最大のゴミ捨て場‘フレッシュキルズ’もまた万里の長城とならんで人工衛星から観測できる数少ない人造建造物のひとつであるということを書いていました(参考資料「巨大都市ゴミと闘う」)が、前回御報告したOBサルサバンドOrquest del Jutoの活動をここに再び掲載できるのはまことに喜ばしい事です。

思いおこせば8月末におこなわれた初めてのフルセクションによる練習では多くのメンバーがあまりのできの悪さに挫折感を味わいました。しかし各自のサルサをやりたいという気持は抑えきれず、また逆にその挫折感をばねにしたからこそ、ここまでくることが出来たのだと思ひ、初ライブのビデオをくりかえし見ながらしみじみと深まり行く秋を感じています。あるメンバーはサルサがうまくなりたい一心で、わざわざ甲府のサルサフェスティバルまで焼肉をしにでかけてゆき、勝手に他人のステージに上がり込んで踊ってきたということです。またあるものは、日本を代表するサルサバンドOrquest del SolのリーダーであるPecker氏を囲んで話しをしてきたと聞いています。ジャズフェスティバルの合間にマラカスをふりながらマンボの練習に打込んだものもいます。女性メンバーは初ライブを少しでも華やかにしようとステージ衣裳について熱心な討議を行なっていました。時間切れで企画だおれになってしまいました。このような熱心なメンバーがいるかぎりしばらくの間バンドは前進して行けるものと確信します。

それでは当日これなかった方々のために簡単に初ライブの内容を以下に記します。

会場：東京工業大学学園祭109講義室

日時：10月20日(日)夕方のゴールデンタイム
(現役の皆さんありがとうございました)

曲目：

1. La Paloma

Fuego 山崎のつたないスペイン語の口上につづいて間髪をおかず飛出した力強いプラス、ゴージャスなサクスのアンサンブルに観客はみな度胆をぬかれる。ボーカルは4分の1音階を使いこなす。

2. Corner Pocket

La Orquesta Count Basicの演奏で有名なラテンジャズ。途中から一部セレソ・ローサに切換わるといふ大仕掛に観客は熱狂。すばらしいアドリブソロが聞かれた。

3. Oye Como Va(前の曲からメドレーでつながる)

イントロが始ると同時に懐かしさのあまり鳥肌がたつもの続出。涙を流すメキシコ人1名。コーラスおよびバリトンサクスは時折強力なテンションノートをはさみ、観客のみならず演奏者をもあっといわせる。

4. Nunca Contigo

この時点では一番新しい曲。観客もメンバーもそろそろ最高潮に達しつつある。興奮のあまり譜面の進行を見失うものが出始める。

5. Puerto Rico

最後の曲、独身最後のセニョール光木史朗大先輩の哀愁をおびたクアトロによるイントロから一転して力強いサルサへとなだれこむ予定であったが、観客の歓声が大き過ぎてカウントが聞えずやり直し(これはこれで貴重な経験であった)。トロンボーン流血のバトル。

以上レパートリーをすべて出しつくして終了。

終ってみての感想は、ものすごく気持ちがよかった(なんでもっと早くから始めなかったのだろうか?)ということ。後からビデオや録音テープを聞いての感想は、ほろほろの演奏であった(ほとんどのメンバー同感)ということ。そこで私は今回のステージを辛めに評価して100満点の95点(満足感90点、演奏技術5点)とします。

なお、常に前進を続けるOrquesta del Jutoはさらに練習をつみ、新曲をひっさげて定期演奏会OBバンドステージにも出場します。御期待下さい。さらに来年度は、サクセスセクションを含むフルオーケストラによるサルサ(この編成で活動しているバンドは日本では少ない)を売物にしてさらに曲を増やし、単独コンサートを必ず開きます。OB会の皆様ご家族でお越し下さい。

それでは最後になりますが今年度の活動を締めくくる意味で、数字として残ったものを以下に列挙してペンを置くことにします。皆様お元気でお願いします。

バンドの活動のためにわざわざ買われたマラカス	3組
同上	ティンパレス 1組
同上	ボンゴ 2組
同上	クアトロ 1台
同上	ギロ 1台
同上	マイク 4本
浅草コマキ楽器で衝動買いされたパーカッション	無数
勉強のため購入されたサルサ関係のビデオ/CD/本	山程
あるメンバーのジャズフェスティバルTV放映出現率	100%
スペイン語検定6級合格者	2名
同上 4級不合格者	2名
同上 受験放棄者	2名
選曲合宿に持寄られたCD	約250枚
大化の改新	645年
レパートリー	7曲
ミュージカルディレクター宅に泊り込んだ延べ人数	50人
初ステージ(工大祭)翌日に有給休暇を取ったもの	6名
同上 無断欠勤したもの	2名
バンド関係者により飲まれたビールの総量	霞ヶ関ビール3杯分

追記：前号の記事中の「スペイン語を学習する者もあらわれ(うち女性1名脱落)」は「スペイン語を学習する者もあらわれ(うち女性1名休止中)」の誤りでしたのでお詫びして訂正させていただきます。(つづく)

編集後記 定演直前号、いかがでしたでしょうか。今年は、Miles Davisの死去というジャズ界にとって大きな事件がありました。また、Orquesta de la Luzやノラマンボボーイズによる、ラテン音楽の再流行もあり非常に目まぐるしい年でした。何の関係もありませんが、この会報の編集会議は、大岡山の居酒屋「いろは」にて行われました。良いお年を。(も)

ロスガラOB会報編集委員会

森田乾一郎 持田恵作 森丸(柴)直樹